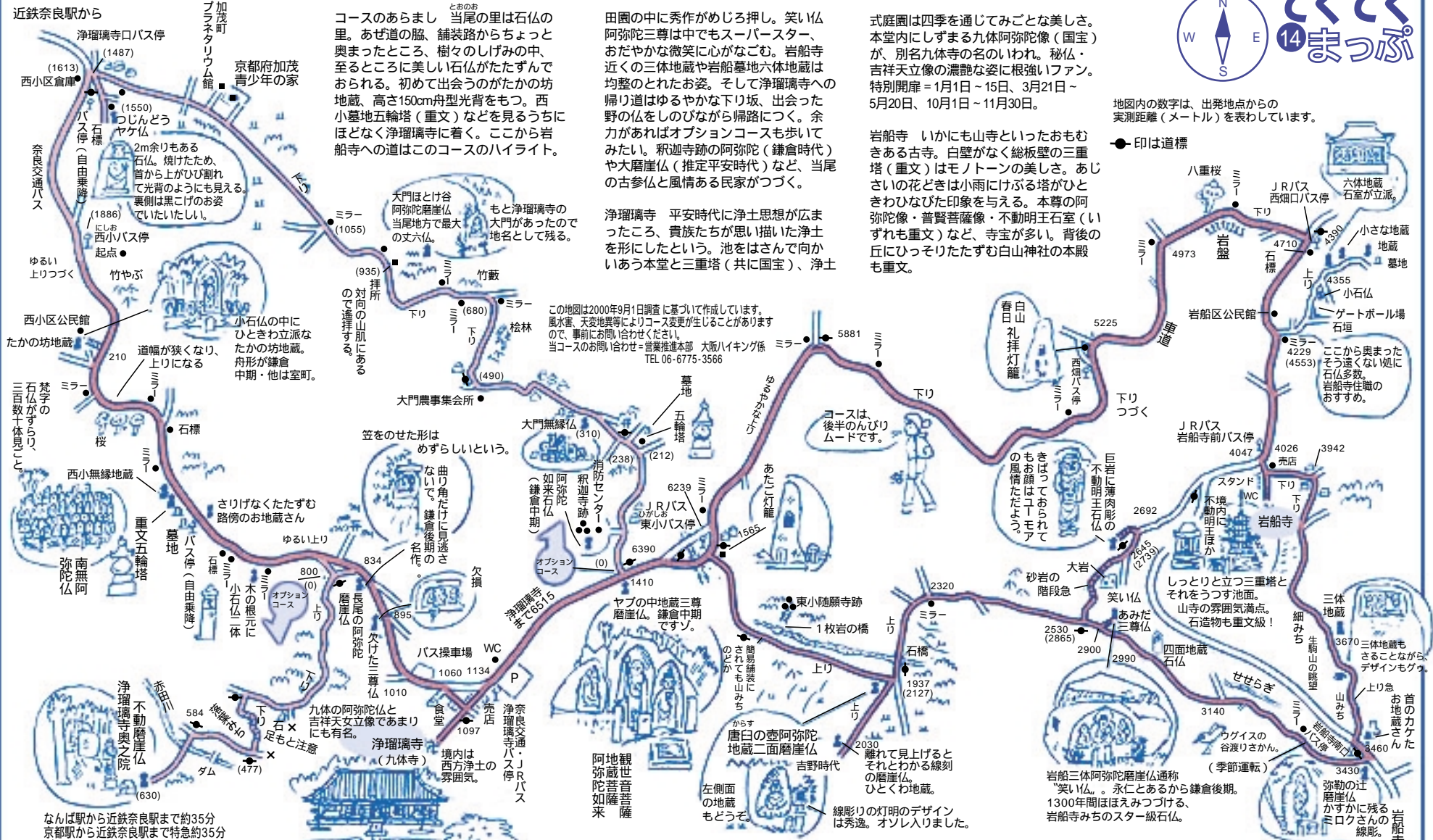


地図内の数字は、出発地点からの  
実測距離（メートル）を表わしています。

●印は道標



コースのあらまし <sup>とおの</sup> 当尾の里は石仏の里。あぜ道の脇、舗装路からちょっと奥まったところ、樹々のしげみの中、至るところに美しい石仏がたたくんでおられる。初めて出会うのがたかの坊地蔵、高さ150cm舟型光背をもつ。西小墓地五輪塔（重文）などを見るうちにほどなく浄瑠璃寺に着く。ここから岩船寺への道はこのコースのハイライト。

田園の中に秀作がめじろ押し。笑い仏阿彌陀三尊は中でもスーパー、おだやかな微笑に心がなごむ。岩船寺近くの三体地蔵や岩船墓地六体地蔵は均整のとれたお姿。そして浄瑠璃寺への帰り道はゆるやかな下り坂、出会った野の仏をしのびながら帰路につく。余力があればオプションコースも歩いてみたい。釈迦寺跡の阿彌陀（鎌倉時代）や大磨崖仏（推定平安時代）など、当尾の古参仏と風情ある民家がつづく。

式庭園は四季を通じてみごとな美しさ。本堂内にしずまる九体阿彌陀像（国宝）が、別名九体寺の名のいわれ。秘仏・吉祥天立像の濃艶な姿に根強いファン。特別開扉 = 1月1日～15日、3月21日～5月20日、10月1日～11月30日。

岩船寺 いかにも山寺といったおもむきある古寺。白壁がなく総板壁の三重塔（重文）はモノトーンの美しさ。あじさいの花ときは小雨にけふる塔がひときわひなびた印象を与える。本尊の阿彌陀像・普賢菩薩像・不動明王石室（いずれも重文）など、寺宝が多い。背後の丘にひっそりたたずむ白山神社の本殿も重文。

浄瑠璃寺 平安時代に浄土思想が広まったころ、貴族たちが思い描いた浄土を形にしたという。池をはさんで向かいあう本堂と三重塔（共に国宝）、浄土

この地図は2000年9月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせ = 営業推進本部 大阪ハイキング係 TEL 06-6775-3566

約6キロ [西小バス停～浄瑠璃寺～岩船寺～浄瑠璃寺前バス停]

# 浄瑠璃寺・岩船寺石仏コース

- ハイキングのエチケット
- \*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
  - \*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
  - \*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。



なんば駅から近鉄奈良駅まで約35分  
京都駅から近鉄奈良駅まで特急約35分  
バス 近鉄奈良駅から西小まで約30分  
近鉄奈良駅から浄瑠璃寺まで約35分  
近鉄奈良駅から岩船寺口まで約30分  
バス時刻のお問い合わせ  
奈良交通テレフォンセンター TEL(0742)20-3100

きれいな思い出 きれいな自然  
ゴミやアキ缶は、持ちがえりましょう

企画・発行 = 近畿日本鉄道(株) 営業推進本部  
制作・印刷 = (株)メディアアート  
イラストマップ = トシ・アトリエ 瀬川俊朗  
無断転写禁止。